

# 豊橋ハートセンター10周年

## 優れた技術、地域医療に貢献

9日に記念式典

心疾患専門病院の豊橋ハートセンター(同市大山町、鈴木孝彦院長)は、今春で開設10周年を迎える。その記念式典が9日午後5時からホテル日航豊橋で、関係者ら多数が出席して開かれる。

同センターは199

8年5月、国立豊橋東

病院(現国立豊橋医療センター)の副院長だった鈴木氏が創設した。当初は愛知県規制により19床の医院としてスタートし翌年、医療法人化。2年後には建物増築し一挙に68床に拡大した。

ドクターはじめ各分野のスタッフ陣も優秀

な人材がそろい、大学病院並みの本格的な心臓外科治療も手掛けるなど、民間では全国初のハイレベルな専門施設として脚光を浴びた。

現在では海外にもその実績が知られ、世界の著名医師らが訪れたり、同センターの医師が外国の一流病院に迎

えられたり学术交流も加速している。

鈴木院長(61)は豊橋生まれ。時習館高校、岐阜医大卒業後、母校医局を経て1983年に豊橋東病院へ内科医長で赴任。数年後、全国でも珍しい内科的風船治療を手掛け、優れた技術で多くの患者を救

命。

開業してからは、年に数回のペースで手術現場を衛星ライブ中継で、内外の医学者に公

開、指導するなど、地域医療にとどまらず現代医学界に大きく貢献している。  
(星野のりこ)



10周年を迎えた豊橋ハートセンター  
—市内大山町で